

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
42212	松山市スポーツ協会運営補助金交付事業	総合政策部	スポーティングシティ推進課	シートB	2
42211	社会体育振興事業	総合政策部	スポーティングシティ推進課	シートB	4
42211	市民スポーツ活動活性化事業	総合政策部	スポーティングシティ推進課	シートB	6
42221	スポーツ推進委員協議会運営事業	総合政策部	スポーティングシティ推進課	シートB	8
42213	中島B&G海洋センター	総合政策部	スポーティングシティ振興課	シートA	10
42213	野球歴史資料館維持管理事業	総合政策部	スポーティングシティ推進課	シートA	11
32131	スポーティングシティまつやま推進事業	総合政策部	スポーティングシティ推進課	シートB	12
42213	中央公園管理運営事業	総合政策部	スポーティングシティ推進課	シートB	14
42213	中央公園改修整備事業	総合政策部	スポーティングシティ推進課	シートB	16
42213	総合コミュニティセンター管理運営事業	総合政策部	スポーティングシティ推進課	シートB	18
42213	スポーツセンター管理事業	総合政策部	スポーティングシティ推進課	シートB	20
42213	野外活動センター管理運営事業	総合政策部	スポーティングシティ推進課	シートB	22
42213	体育施設管理運営事業	総合政策部	スポーティングシティ推進課	シートB	24
42213	野外活動センター施設災害復旧事業	総合政策部	スポーティングシティ推進課	シートA	26

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興	連絡先	948-6226			
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主幹 野口 信隆	担当者名	主事 西岡 直哉	主事 濱田 和志		
H30年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興	連絡先	948-6226			
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主幹 野口 信隆	担当者名	主査 細谷 祐子	主任 影山 知佳		

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	42212	松山市スポーツ協会運営補助金交付事業	事業登録	既存	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	多彩な人材を育む				重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化		市長公約	-				
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進			-				
取り組みの柱	スポーツ少年団への支援		-					
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	-
	政策	-			-			-
	施策	-			-			-
総合計画の実施計画掲載有無(H30)	1:有り	重点的取組事業該当有無(H30)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成
根拠法令,条例,個別計画等								
事業の目的(どのような状態にするか)	市民の体力増進と健康で明るい生活づくりに寄与することを目的に各種事業に取り組んでいる「公益財団法人 松山市スポーツ協会」に事業補助を行う。							
背景(どのような経緯で開始したか)	市民の体力増進と健康で明るい生活づくりに寄与することを目的に「公益財団法人 松山市体育協会」を昭和57年に設立し、目的を達成するために取り組む各種事業を補助している。(平成30年6月から「松山市スポーツ協会」に名称変更)							
対象(誰を,何を)	補助金交付先:公益財団法人 松山市スポーツ協会							
事業内容(どのような活動・手段か)	「公益財団法人 松山市スポーツ協会」に補助金を支出し、松山市スポーツ協会は市民の体力増進と健康で明るい生活づくりに寄与することを目的に実施している各種事業を実施する。 1. 普及事業…表彰事業、地域スポーツ振興事業、スポーツ行事の実施事業、生涯スポーツ振興助成事業、キッズスポーツプロジェクト事業、施設管理事業 2. 育成事業…大会助成事業、指導者・選手育成事業、スポーツ少年団育成事業							
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	2:無し	有りの場合、その協働の内容					
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り	(有りの場合) URL	http://m-taikyo.or.jp		パンフレット等の有無	2:無し	(有りの場合) 設置場所
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	昭和	60	～	終期設定できない場合の理由 松山市スポーツ協会が自主財源のみで運営できるまでは補助が必要であるため。				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費	目	社会体育総務費	H30予算措置時期	当初
				H28年度	H29年度					
現計予算額(A)(単位:千円)				51,366	59,414			55,466		55,543
決算額(B)(単位:千円)				48,255	48,046			49,154		
内訳(単位:千円) ※H28~30→決算内訳, H31→予算内訳	国支出金			0	0			0		0
	県支出金			0	0			0		0
	市債			0	0			0		0
	その他			0	0			0		0
	一般財源			48,255	48,046			49,154		55,543
主な経費(単位:千円) ※H30→決算,H31→予算							松山市体育協会運営補助金49,154千円			松山市スポーツ協会運営補助金55,543千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			3,111	11,368			6,312		
人役(単位:人) ※小数点第一位まで	正規職員			0.2	0.3			0.5		0.3
	正規職員以外			0.0	0.1			0.0		0.2

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	「公益財団法人 松山市スポーツ協会」に事業補助を行う。1. 普及事業…表彰事業、地域スポーツ振興事業、スポーツ行事の実施事業、生涯スポーツ振興助成事業、キッズスポーツプロジェクト事業、施設管理事業 2. 育成事業…大会助成事業、指導者・選手育成事業、スポーツ少年団育成事業		H30年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	特に無し		
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り事業実施ができたため。		
中核市の実施状況	3:半数以上で実施	事業の独自性	特に無し			
類似事業の有無(国,県,民間等)	2:無し	「有り」の場合,事業名・実施主体等				
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	1	1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	行政専門性	1	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由 多くの市民の体力増進と健康で明るい生活づくりに寄与することができた。				
H31年度の目標	市民の体力増進と健康で明るい生活づくりに寄与する。		H31年度の主な取組み内容(予定含む)	「公益財団法人 松山市スポーツ協会」に事業補助を行う。1. 普及事業…表彰事業、地域スポーツ振興事業、スポーツ行事の実施事業、生涯スポーツ振興助成事業、キッズスポーツプロジェクト事業、施設管理事業 2. 育成事業…大会助成事業、指導者・選手育成事業、スポーツ少年団育成事業	特に環境変化,障害,課題等解決のため,H31年度で取り組む改善策	特に無し

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)			目標値	-	-	-	-	-	目標値	-	
			実績値	-	-	-	-	-	達成年度	-	
			% 達成度	-	-	-	-	-			
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方						
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方						
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類				最終目標値の 設定の考え方							
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	①スポーツ少年団登録者数	人	目標値	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	目標値	3,500	
			実績値	3,198	3,031	2,964			達成年度	R2年度	
			% 達成度	91	87	85					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の 設定の考え方		少子化が進行中、現状維持を目標値とする。				
	本指標の設定理由	スポーツ少年団登録者数の増加対策への指標となるため。									
	②審判員等資格取得補助制度の利用者数	人	目標値	-	-	850	950	1,050	目標値	1,250	
			実績値	-	-	801			達成年度	R4年度	
			% 達成度	-	-	94					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標			最終目標値の 設定の考え方		第6次松山市総合計画の指標において、同様の目標設定を行っている。				
	本指標の設定理由	スポーツ活動の支援体制の充実度を示す指標であるため。									
	③まつやまキッズ スポーツクラブ「つばさ」 の延べ参加者数	人	目標値	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	目標値	1,100	
			実績値	643	580	538			達成年度	R2年度	
% 達成度			58	53	49						
指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の 設定の考え方		少子化が進行中、現状維持を目標値とする。					
本指標の設定理由	スポーツを日常的に行う子供の数を知る指標であり、「つばさ」の効果を測る指標となるため。										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標	①毎年、85%以上は目標を達成している状況である。 ②愛媛国体の終了に伴い、新たに公認スポーツ指導員とスポーツ少年団指導者を含む指標に変更を行ったが、H30年度は審判員等資格取得補助制度を実施しなかったため。 ③参加人数の減員により、達成度が低くなった。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーティングシティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226				
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主幹	野口 信隆	担当者名	主査	影山 知佳	主事	西岡 直哉
H30年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーティングシティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6889				
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主幹	野口 信隆	担当者名	主査	宮脇 聡	主任	影山 知佳

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	42211	社会体育振興事業	事業登録	既存	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金		
基本目標	健全で豊かな心を育む【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-					
政策	多彩な人材を育む				重点プロジェクト	-				
施策	地域スポーツの活性化				主な取り組み	-				
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	231	誰もが自分らしく、いきいきと暮らせる松山をつくります					
取り組みの柱	市民スポーツ活動の活性化				スポーツコンベンションの誘致や地域でのスポーツ活動の活性化、伊都松山ならではの文化プログラムの実施など、市民の誰もが気軽にスポーツや文化芸術に親しめる機会を充実します。					
総合戦略	5231	基本目標 ①暮らしと経済を守る(暮らしと経済まちづくり) 政策 ②安心して健康な暮らしの確保 施策 ③健康寿命の延伸	取組み	①生涯を通じた生活習慣病予防に重点を置き、乳幼児期から高齢期までライフステージに合わせた健康づくりに取り組むとともに、各地域で自主的に行われている健康づくり活動を支援します。また、年齢や体力に応じて、健康維持・増進につながる運動やスポーツをする機会を提供します。			(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	2:無し		
総合計画の実施計画掲載有無(H30)	1:有り		重点的取組事業該当有無(H30)	2:無し		(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成

根拠法令,条例,個別計画等											
事業の目的(どのような状態にするか)	スポーツの振興・普及を図るために各種大会に対し、様々な支援を行いスポーツでより多くの市民が笑顔になることを目的とする。										
背景(どのような経緯で開始したか)	・より多くの笑顔が増えるよう、平成24年度より、スポーツで優秀な成績を取った選手や指導者を対象に「まつやまスポーツ笑顔大賞」を創設した。 ・平成17年に旧中島町との合併に伴い、旧中島町が開催していた「トライアスロン中島大会」の開催・運営を引き継いだことにより、大会運営に参画している。 ・既存の大会としてあった「愛媛マラソン」を、平成22年の第48回大会より、アスリートマラソンの大会から、市民マラソンの大会として開催するにあたり、主催者として大会運営に参画している。										
対象(誰を、何を)	広告料:野球クラブチーム(松山フェニックス・マドンナ松山) 負担金交付先:愛媛マラソン実行委員会、トライアスロン中島大会実行委員会 補助金交付先:全国大会に出場する小中学生										
事業内容(どのような活動・手段か)	・市民が取り組む各種大会の後援を行う。 ・スポーツ功労者に対して表彰を行う。 ・大規模なスポーツ大会開催の際に経費補助等を行う。										
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	1:有り	有りの場合、その協働の内容	愛媛マラソン実行委員会への参画							
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り	(有りの場合) URL	<a href="https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/download/kvoikubunka/zenkokugekreikin.html">https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/download/kvoikubunka/zenkokugekreikin.html</a>		パンフレット等の有無	1:有り	(有りの場合)設置場所	スポーティングシティ推進課		
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	愛媛マラソンやトライアスロン中島大会への参加費							
始期・終期(年度)	平成	17	～	終期設定できない場合の理由	スポーツの振興や普及に不可欠な事業であるため						

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費		社会体育総務費		H30予算措置時期	当初
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				40,004	25,623			27,003			28,933
決算額(B)(単位:千円)				38,873	30,662			29,793			
内訳(単位:千円) ※H28~30→決算内訳, H31→予算内訳	国支出金			0	0			0			0
	県支出金			0	0			0			0
	市債			0	0			0			0
	その他			2,000	0			0			0
	一般財源			36,873	30,662			29,793			28,933
主な経費(単位:千円) ※H30→決算,H31→予算								全国大会参加激励金:7,000千円 トライアスロン中島大会開催負担金:4,500千円			全国大会参加激励金:7,000千円 トライアスロン中島大会開催負担金:4,500千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								流用による増あり			
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		1,131	-5,039			-2,790			
人役(単位:人) ※小数点第一位まで	正規職員			2.2	1.1			1.4			1.4
	正規職員以外			0.2	0.2			0.0			0.0

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	・市民が取り組む各種大会の後援を行う。 ・スポーツ功労者に対して表彰を行う。 ・大規模なスポーツ大会開催の際に経費補助等を行う。		H30年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	特に無し		
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	各大会の運営が円滑に行われるように補助ができた。		
中核市の実施状況	2:実施市は少ない	事業の独自性	かがやき松山大賞とは別に、スポーツで優秀な成績を取った選手や指導者を対象として「まつやまスポーツ笑顔大賞」の表彰制度を創設し、スポーツの活性化に努めていること。			
類似事業の有無(国,県,民間等)	2:無し	「有り」の場合,事業名・実施主体等				
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	政策性	1	1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	行政専門性	1
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	各種の取り組みにより市民のスポーツへの振興・普及が図れているため。			
H31年度の目標	スポーツの振興・普及を図るために各種大会に対し様々な支援やアスリートを表彰することにより、スポーツにおいてより多くの市民が笑顔になること。		H31年度の主な取組み内容(予定含む)	・市民が取り組む各種大会の後援を行う。 ・スポーツ功労者に対して表彰を行う。 ・大規模なスポーツ大会開催の際に経費補助等を行う。	特に環境変化,障害,課題等解決のため,H31年度で取り組む改善策	特に無し

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)			目標値	-	-	-	-	-	目標値	-	
			実績値	-	-	-	-	-	達成年度	-	
			% 達成度	-	-	-	-	-			
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	愛媛マラソン 抽選エントリー申込者数	人	目標値	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	目標値		
			実績値	22,565	23,875	23,650			達成年度		
			% 達成度	100	106	105					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の設定の考え方		最終目標値及び達成年度は、実行委員会が決定されるものであり、設定は困難である。				
	本指標の設定理由	愛媛マラソンの人気を把握できる数値のため									
	愛媛マラソンの経済効果	千円	目標値	459,749	493,155	493,100	493,100	493,100	目標値	493,100	
			実績値	476,000	514,830	592,000			達成年度	R2年度	
			% 達成度	104	104	120					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		現状では、定員1万人が拡大する想定はしていないため、現状維持とした。				
	本指標の設定理由	愛媛マラソンが地域経済の活性化にどのくらい寄与しているのかの指標になるため。									
	トライアスロン中島大会申込者数	人	目標値	625	625	625	625	625	目標値	625	
			実績値	506	456	434			達成年度	R2年度	
% 達成度			81	73	69						
指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の設定の考え方		本大会は30回を超える歴史ある大会であり、愛媛県唯一のトライアスロンの大会であった。しかし、平成24年度以降は愛南町、伊予市、今治市で、日本トライアスロン連合公認の大会が開催されるようになり、選手にとっての選択肢が大幅に広がった。そのため、H25年度の実績値を現状維持とする目標設定にしてい					
本指標の設定理由	トライアスロン中島大会の人気を把握出来る数値であるため。										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標	愛媛マラソン申込者数は年々増加傾向であり、本大会の人気の高さを示している。また、経済効果も年々増加傾向であり、大会を開催することで経済に一定の影響を与えていると考えることが出来る。トライアスロン中島大会は、県内他市でトライアスロンの大会が開催され始めたことや、宿泊先の確保が困難であることから、エントリー数が減少傾向にあるが、大会の質の向上などを行い、リピーターを増やすよう取り組んでいく。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226				
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主幹	野口 信隆	担当者名	主査	影山 知佳	主事	吉川 英里
H30年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6889				
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主幹	野口 信隆	担当者名	主査	宮脇 聡	主任	影山 知佳

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	42211	市民スポーツ活動活性化事業	事業登録	既存	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金			
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム		個別プログラム	-					
政策	多彩な人材を育む				重点プロジェクト	-					
施策	地域スポーツの活性化				主な取り組み	-					
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約								
取り組みの柱	市民スポーツ活動の活性化										
総合戦略	5231	基本目標 ①暮らしと経済を守る(暮らしと経済まちづくり) 政策 ②安心して健康な暮らしの確保 施策 ③健康寿命の延伸	取組み	①生涯を通じた生活習慣病予防に重点を置き、乳幼児期から高齢期までライフステージに合わせた健康づくりに取り組むとともに、各地域で自主的に行われている健康づくり活動を支援します。また、年齢や体力に応じて、健康維持・増進につながる運動やスポーツをする機会を提供します。			(総合戦略) 未来プロジェクト、該当有無	2:無し			
総合計画の実施計画掲載有無(H30)	1:有り		重点的取組事業該当有無(H30)	2:無し		(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成	
根拠法令,条例,個別計画等											
事業の目的(どのような状態にするか)	スポーツを通じ、市民の健康保持、健康増進及び公民館相互の親睦・交流を図ること、また、本市スポーツの推進と発展に寄与し、市民生活を明るく豊かにすることを目的とする。										
背景(どのような経緯で開始したか)	スポーツを通じ、市民の健康保持、健康増進及び公民館相互の親睦・交流を図ることを目的として、「松山市民体育祭実行委員会」を発足させ、昭和55年から市民体育祭を運営している。また、広く市民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚させることによって、市民の健康増進と体力の向上を図り、市民生活を明るく豊かにするために「松山市長旗杯大会開催実行委員会」を発足し、平成25年度から市民のスポーツ振興を積極的に支援している。										
対象(誰を、何を)	対象:全市民 負担金交付先:松山市長旗杯大会開催実行委員会										
事業内容(どのような活動・手段か)	「松山市民体育祭実行委員会」に負担金を支出し、市民体育祭を開催している。松山市長旗杯大会を開催している各種団体に対して「松山市長旗杯大会開催実行委員会」が継続して大会が開催できるよう支援している。										
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	1:有り		有りの場合、その協働の内容	「松山市民体育祭実行委員会」の開催・運営						
事業の周知状況	HP掲載の有無	2:無し		(有りの場合) URL	パンフレット等の有無		2:無し		(有りの場合) 設置場所		
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	スポーツを通じ、市民の健康保持、健康増進を図るもので、運営が困難な大会等を支援することから、負担はない。						
始期・終期(年度)	昭和	55		～	終期設定できない場合の理由		スポーツを通じ、市民の健康保持、健康増進及び参加者の親睦を図るもので、引き続き必要であるため。				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費		社会体育総務費		H30予算措置時期	当初
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				5,477	5,055			5,081			5,073
決算額(B)(単位:千円)				5,286	4,368			4,398			
内訳(単位:千円) ※H28~30→決算内訳, H31→予算内訳	国支出金			0	0			0			0
	県支出金			0	0			0			0
	市債			0	0			0			0
	その他			0	0			0			0
一般財源			5,286	4,368			4,398				5,073
主な経費(単位:千円) ※H30→決算,H31→予算						市民体育祭実行委員会負担金:3,069千円 市長旗杯大会開催負担金:1,000千円		市民体育祭実行委員会負担金:3,067千円 市長旗杯大会開催負担金:1,000千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		191	687			683			
人役(単位:人) ※小数点第一位まで				正規職員	1.4	1.3		1.3			1.4
				正規職員以外	0.0	0.2		0.0			0.2

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市民体育祭の開催・運営 松山市長旗杯大会の開催支援		H30年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	特に無し		
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	地区体育祭の開催により、市民の体力増進と地域コミュニティの促進に努めることができた。より多くの松山市長旗杯大会などの開催支援を行うことで、市民スポーツ機運の醸成に努めることができた。		
中核市の実施状況	3:半数以上で実施	事業の独自性	特に無し			
類似事業の有無(国,県,民間等)	2:無し	「有り」の場合,事業名・実施主体等				
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	1	1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	行政専門性	2	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	市民体育祭を開催するとともに、松山市長旗杯大会を開催することで、スポーツを通じた交流機運が高まっているため。			
H31年度の目標	引き続き、スポーツを通じた市民の健康保持、健康増進及び公民館相互の親睦・交流、また、市民生活を明るく豊かにできるよう努める。		H31年度の主な取組内容(予定含む)	市民体育祭の開催 松山市長旗杯大会の開催支援	特に無し	特に環境変化,障害,課題等解決のため,H31年度で取り組む改善策

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	市長旗杯スポーツ大会の開催数	大会	目標値	38	40	40	40	40	目標値	40	
			実績値	34	24	23			達成年度	R4年度	
			% 達成度	89	60	58					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第6次松山市総合計画の指標において、同様の目標設定を行っている。				
	本指標の設定理由	市民がスポーツ大会に参加できる機会を把握できる指標であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	公民館対抗スポーツ大会の参加者数	人	目標値	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	目標値	2,600	
			実績値	2,466	1,615	2,496			達成年度	R2年度	
			% 達成度	94	62	96					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	公民館対抗のスポーツ大会のうち、バレーボールとソフトボールは50回以上開催してきた歴史があるものの、大会の競技レベルが高く、未経験者が参加しにくい状況があり、参加チームが減少傾向にあるため、現状維持を目標とした。				
	本指標の設定理由	市民がスポーツ大会に参加できる機会を把握できる指標であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	各種大会の支援を行ってきたが、えひめ大会を目標にしてきた大会が多く、現在は減少傾向にある。今後は、支援方法等を再検討し、新規の大会支援を行う。									
	成果指標	公民館対抗スポーツ大会は、市民体育祭を含め年5回実施しており、これ以上の大会の増加は公民館活動との調整もあることから困難であるため、現在の大会の開催機会を維持し、大会の質を高めることで、多くの市民参加を促進している。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインシティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226				
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主幹	野口 信隆	担当者名	主査	影山 知佳	主事	西岡 直哉
H30年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインシティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6889				
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主幹	野口 信隆	担当者名	主査	宮脇 聡	主任	影山 知佳

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	42221	スポーツ推進委員協議会運営事業	事業登録	既存	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-			
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-			
主な取り組み	指導・支援体制の充実		市長公約					
取り組みの柱	指導者の育成・強化とボランティアの活動支援							
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	-
	政策	-			-			-
	施策	-			-			-
総合計画の実施計画掲載有無(H30)	2:無し	重点的取組事業該当有無(H30)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成
根拠法令,条例,個別計画等								
事業の目的(どのような状態にするか)	スポーツ推進委員協議会運営事業は、スポーツ基本法に基づき各地区(公民館単位)から推薦されたスポーツ推進委員を委嘱し、地区体育祭や各種スポーツ大会の運営や指導を行い地域のスポーツ振興に努める。							
背景(どのような経緯で開始したか)	1961年「スポーツ振興法」が制定され同法19条に体育指導員に関する条文として設けられた。2011年に「スポーツ基本法」に改正され同法32条にスポーツ推進委員に名称変更し引き続き規定が設けられた。							
対象(誰を,何を)	各地区の公民館長から推薦された方(定員150名)を、スポーツ推進委員として本市が委嘱している。その活動経費として、松山市スポーツ推進委員協議会に補助金を支出している。							
事業内容(どのような活動・手段か)	松山市民体育祭、バレーボール、ベタングなど各種スポーツ大会の運営 全国、四国で開催される研修会、障がい者スポーツへの理解を深めるための研修の他、愛媛マラソンをはじめとする各種スポーツ大会の運営ボランティア 地区体育祭の運営や地域でのスポーツに関する指導や助言							
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	1:有り	有りの場合、その協働の内容	各地区が参加する各種スポーツ大会の運営 愛媛マラソンや松山市スポーツ協会が主催する大会ボランティア				
事業の周知状況	HP掲載の有無	2:無し	(有りの場合) URL		パンフレット等の有無	1:有り	(有りの場合) 設置場所	スポーツインシティ推進課
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	昭和	36	～	終期設定できない場合の理由	スポーツ振興には、生涯スポーツの振興・健康増進など様々な効果があることから、地域に根差した取り組みが、今後必要であるため			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費			目	社会体育総務費	H30予算措置時期	当初
				H28年度	H29年度	H30年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				6,680	6,736		6,736			6,708
決算額(B)(単位:千円)				12,503	9,574		6,596			
内訳(単位:千円) ※H28~30→決算内訳, H31→予算内訳	国支出金			0	0		0			0
	県支出金			0	0		0			0
	市債			0	0		0			0
	その他			0	0		0			0
	一般財源			12,503	9,574		6,596			6,708
主な経費(単位:千円) ※H30→決算,H31→予算							報酬 5,685千円 補助金 480千円 負担金 305千円			報酬 5,685千円 負担金 785千円 消耗品費 137千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		-5,823	-2,838		140			
人役(単位:人) ※小数点第一位まで	正規職員			1.0	1.1		1.6			1.4
	正規職員以外			0.0	0.2		0.0			0.2

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	各公民館との連携を図り滞りない委嘱を行うことで、市民体育祭をはじめとする各種大会の円滑運営に努めることができた。		H30年度終了までに把握している環境の変化、障害,課題となっている事項	2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて各種スポーツに関心が集まる中、障がい者スポーツへの理解及び指導者不足が課題となっている。		
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	各種大会の運営にはそれぞれの課題もあるが、大会終了後は、運営や審判なども交えた反省会も実施しており、次回の大会に生かせるよう努めている。		
中核市の実施状況	3:半数以上で実施	事業の独自性	特になし			
類似事業の有無(国,県,民間等)	2:無し	「有り」の場合,事業名・実施主体等				
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	1	1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	行政専門性	1	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	市民のスポーツに対する意識の高揚や健康増進に繋がる			
H31年度の目標	引き続き、スポーツ基本法に基づき委員の委嘱を行い、委員の活動を円滑にするための補助を行う。		H31年度の主な取り組み内容(予定含む)	各種市民スポーツ大会の運営やスポーツ推進委員一日研修会の実施	特に環境変化,障害,課題等解決のため,H31年度で取り組む改善策	2020東京オリンピック・パラリンピックを見据え、障がい者スポーツ指導員養成講習会を実施予定



【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)			目標値	-	-	-	-	-	目標値	-	
			実績値	-	-	-	-	-	達成年度	-	
			% 達成度	-	-	-	-	-			
	指標の種類										
	本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方					
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類										
	本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方					
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類											
本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方						
成果指標 (3つまで設定可)			目標値	-	-	-	-	-	目標値	-	
			実績値	-	-	-	-	-	達成年度	-	
			% 達成度	-	-	-	-	-			
	指標の種類										
	本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方					
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類										
	本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方					
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類											
本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方						
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標										
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグレーション課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	997-2211	
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主査 青木 琢也	担当者名	副主幹	大堀 英世
H30年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグレーション課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	997-2211	
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	副主幹 重松 圭介	担当者名	副主幹	伊藤 彰規

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	中島B&G海洋センター	事業登録	既存	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	健全で豊かな心を育む【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-				
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-				
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約						
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用								
総合戦略	基本目標			取組み				(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	
	政策								
	施策								
総合計画の実施計画掲載有無(H30)	2:無し	重点的取組事業該当有無(H30)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成	
根拠法令, 条例, 個別計画等	松山市体育施設条例								
事業の目的(どのような状態にするか)	中島B&G海洋センターは、体育館(アリーナ・トレーニングルーム・ミーティングルーム)と、プールを持つスポーツレクリエーションの総合施設であり、市民の健康増進につながる様々なイベントやスポーツ教室を年間を通して開設している。また、海洋スポーツ等を通じた青少年の健全育成を促進するため、海洋クラブ活動を年間25回程度実施している。さらに、夏季には海に親しむ機会を作ってもらうため、海洋性レクリエーション指導員の派遣を行っている。								
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和59年開設(公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団により建設され、昭和62年に旧中島町に無償譲渡された。平成17年に松山市と合併し、松山市中島B&G海洋センターとして運営中)。								
対象(誰を、何を)	・施設の貸出や、健康増進につながるイベント・教室の開催は、主に中島に住む住民が対象である。海洋クラブ活動は、主に中島の小中学生(島外からも8名参加)が対象である。海洋性レクリエーションを中心とした体験イベントは、主に松山市主催事業の参加者(島外小中学生)が対象である。								
事業内容(どのような活動・手段か)	・体育館・プール(夏季限定)施設の維持管理と市民への貸出業務 ・年間を通じて様々なスポーツイベントを開催 ・海洋クラブの充実(海洋性スポーツ等を通じた青少年の健全育成) ・B&G財団との連携による各種事業の開催 ・中島で開催される各種事業との連携(体験型の海洋性スポーツを実施)								
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	3:協働する性質でない	有りの場合、その協働の内容						
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り	(有りの場合) URL	<a href="http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/koen/sportsyoukai/sportsshisetsu/shisetsu2/nakazimakaiyoucenter.html">http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/koen/sportsyoukai/sportsshisetsu/shisetsu2/nakazimakaiyoucenter.html</a>		パンフレット等の有無	2:無し	(有りの場合) 設置場所	
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		松山市体育施設条例に使用料の定めあり				
始期・終期(年度)	昭和	59	～	終期設定できない場合の理由	施設が廃止にならない限り維持管理が必要となるため				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	項		目	体育施設費	H30予算措置時期	当初
				保健体育費					
				H28年度	H29年度	H30年度		H31年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				65,314	12,915	13,879		37,642	
決算額(B)(単位:千円)				59,764	10,737	7,069			
内訳(単位:千円) ※H28~30→決算内訳, H31→予算内訳	国支出金			0	0	0		0	
	県支出金			0	0	0		0	
	市債			0	0	0		10,300	
	その他			4,254	259	291		15,630	
一般財源				55,510	10,478	6,778		11,712	
主な経費(単位:千円) ※H30→決算,H31→予算						・プール監視員等件費:337千円 ・施設維持のための保守点検等委託料:2,073千円	・プール監視員等件費:339千円 ・施設維持のための保守点検等委託料:1,560千円 ・体育館外壁改修工事費:25,781千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	5,550	2,178	6,810		
人役(単位:人) ※小数点第一位まで				正規職員	4.8	3.1	3.1		3.1
				正規職員以外	1.2	1.3	1.3		1.3

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・海洋性レクリエーションを中心とした体験イベントの実施 ・島以外にも海洋クラブへの参加者を募る ・B&G財団主催イベントへの積極的な参加 ・他課及び他団体との連携による海洋性スポーツの普及活動		H30年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	・プール施設の老朽化 ・中島諸島の人口減少及び高齢化 ・他課実施の事業の縮小及び廃止			
主な取り組み内容の達成度	↑	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	・海洋クラブに中島以外から8名の参加があった。 ・新たに、しめ縄作り等の文化的な活動を開始した。 ・スポーツ教室等の拡充により、センター利用者数が前年度比7%増となった。			
中核市の実施状況	2:半数未満で実施	事業の独自性	無人島へのカヌーツーリングイベントなど、島しょ部の特性を活かした体験活動などを実施している。				
類似事業の有無(国,県,民間等)	1:有り	「有り」の場合,事業名・実施主体等	県内B&G海洋センター:愛南町・今治市・鬼北町・久万高原町・西条市				
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	政策性	1	1:政策的な意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		行政専門性	1	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	中島B&G海洋センターの利用者は年間約11,000人であり、市民の生涯スポーツの普及、健康増進に大きく役立っている。				
H31年度の目標	・スポーツを通じた市民の憩いの場であると同時に、健康増進の拠点としての役割を果たしていく。 ・外壁改修工事(B&G財団助成金・辺地債を活用)を予定しており、社会教育等との連携や新規事業の実施等により、センター利用者数前年比10%増を図る		H31年度の主な取り組み内容(予定含む)	・プールを含む体育施設の貸借業務 ・海洋性レクリエーション(体験イベント)の実施 ・新たなスポーツ教室の開催 ・他課との連携による新たな施設利用者、海レクリエーション体験者を募る ・体育館外壁改修工事	特に環境変化、障害、課題等解決のため、H31年度で取り組む改善策	・愛媛県B&G連絡協議会主催のスポーツ大会等への積極的な参加 ・夏季にイベントを行う他課との連携による、海洋性レクリエーション体験の実施 ・小中学校と連携した行事の開催に努める	

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6597	
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主査 青木 琢也	担当者名	主任 三瀬 香	
H30年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6597	
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	副主幹 重松 圭介	担当者名	主任 毛利 清一	

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	野球歴史資料館維持管理事業	事業登録	既存	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	多彩な人材を育む				重点プロジェクト	-			
施策	地域スポーツの活性化				主な取り組み	-			
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約						
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用								
総合戦略	基本目標			取組み				(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	
	政策								
	施策								
総合計画の実施計画掲載有無(H30)	2:無し	重点的取組事業該当有無(H30)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成	
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	坊っちゃんスタジアムの施設内に、正岡圭規が伝えたと言われる野球の歴史資料館を開館しており、アマチュア野球を中心に貴重な資料等の展示を行っている。野球歴史資料館維持管理事業は、市民はもとより、松山を訪れる野球ファンに來館していただき、愛媛の野球史に興味を持っていただけるよう、展示物を整備することを目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	現在も利用されているゲーム(バーチャルピッチング)のコーナーは、平成12年の坊っちゃんスタジアムオープンから設けられていた。そして、平成14年のオールスターゲームが開催されたことを契機に、プロ野球に関する展示が新たに加わったものの、輝かしい成績を取ってきた高校野球や社会人野球といったアマチュア野球に関する資料等を広く市民に閲覧していただく機会や場所は無い状況であった。そこで、歴史が深いアマチュア野球を含めた形で、愛媛の野球に関して顕彰を行い、後世に引き継いでいきたいという気運が高まったことにより、本事業が開始された。								
対象(誰を,何を)	松山にゆかりのあるアマチュア野球やプロ野球に興味のある方、坊っちゃんスタジアムに野球観戦に來られた方。								
事業内容(どのような活動・手段か)	施設の維持管理を公益財団法人松山市スポーツ協会に委託している。								
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	3:協働する性質でない	有りの場合、その協働の内容						
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り	(有りの場合) URL	<a href="http://m-taikyo.or.jp/publics/index/44/">http://m-taikyo.or.jp/publics/index/44/</a>		パンフレット等の有無	2:無し	(有りの場合) 設置場所	
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		愛媛の野球に関して顕彰を行い、後世に引き継いでいきたいという経緯から、入場料を徴収することはそぐわないため。				
始期・終期(年度)	平成	14	～	終期設定できない場合の理由		施設が廃止されない限り、維持改修が必要であるため。			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費			目	中央公園管理費	H30予算措置時期	当初
				項	保健体育費					
				H28年度	H29年度	H30年度		H31年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				8,413	6,950			6,934	7,487	
決算額(B)(単位:千円)				8,181	5,666			6,736		
内訳(単位:千円) ※H28~30→決算内訳, H31→予算内訳	国支出金			0	0			0	0	
	県支出金			0	0			0	0	
	市債			0	0			0	0	
	その他			179	100			100	100	
	一般財源			8,002	5,566			6,636	7,387	
主な経費(単位:千円) ※H30→決算,H31→予算						委託料 6,736千円		委託料 7,487千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	232	1,284	198			
人役(単位:人) ※小数点第一位まで				正規職員	0.2	0.2	0.2		0.2	
				正規職員以外	0.0	0.0	0.0		0.0	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	野球歴史資料館維持管理委託		H30年度終了までに把握している環境の変化, 障害,課題となっている事項	特になし
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	年間を通じて滞りなく運営を行うことができたため。
中核市の実施状況	2:半数未満で実施	事業の独自性	愛媛の野球に特化した展示を行っており、独自性は高い。	
類似事業の有無(国,県,民間等)	2:無し	「有り」の場合,事業名・実施主体等		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	政策性 2 1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性 行政専門性 2 1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	H30年度の野球歴史資料館の入館者数は、アマチュア野球コーナーとプロ野球コーナーを合わせて、年間延べ約1万2千人であり、愛媛の野球を顕彰し後世に引き継いでいくにあたっては、必要不可欠な施設であると考えられる。	
H31年度の目標	円滑な維持管理を行い、前年度程度の入館者数の確保に努めたい。		H31年度の主な取り組み内容(予定含む)	・野球歴史資料館維持管理のための委託 ・新たな資料等を提供いただける場合の積極的な受入れ 特になし 特に環境変化,障害,課題等解決のため,H31年度で取り組む改善策

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226	
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主幹	野口 信隆	担当者名	副主幹 大野 精毅 主任 関谷 暁人
H30年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226	
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主幹	野口 信隆	担当者名	副主幹 大野 精毅 主任 関谷 暁人

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	32131	スポーツインテグリティまつやま推進事業	事業登録	既存	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営				
基本目標	地域の魅力・活力がふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	113	個別プログラム	笑顔が集まるプログラム						
政策	都市全体の価値や魅力を向上する				重点プロジェクト	松山への新しい人の流れをつくる「心ひかれるまちづくり」プロジェクト						
施策	選ばれる都市づくり				主な取り組み	スポーツインテグリティまつやまの推進						
主な取り組み	スポーツによる地域活性化の推進		市長公約	231	誰もが自分らしく、いきいきと暮らせる松山をつくります							
取り組みの柱	スポーツ支援の促進				スポーツコンベンションの誘致や地域でのスポーツ活動の活性化、佛都松山ならではの文化プログラムの実施など、市民の誰もが気軽にスポーツや文化芸術に親しめる機会を充実します。							
総合戦略	4232	基本目標 ①魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化) 政策 ②産業の競争力強化(業種別取組) 施策 ③文化・芸術・スポーツ等の地域資源を活用したビジネス創出	取組み	② 東京オリンピックやパラリンピックなどの世界大会における、海外チームの合宿誘致等の促進のほか、地元プロスポーツへの支援を行います。		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	2:無し					
総合計画の実施計画掲載有無(H30)	1:有り		重点的取組事業該当有無(H30)	1:有り		(重点該当の場合)	開始年度	平成 19	終了(予定)年度	平成 31		
根拠法令,条例,個別計画等												
事業の目的(どのような状態にするか)	プロスポーツの支援をはじめ、スポーツを「する」、「見る」、「支える」ひとを応援し、競技人口の拡大や観光施策とも連携させ交流人口の拡大、更には地域経済の活性化など「まち」、「ひと」の元気・活力の創出を図る。											
背景(どのような経緯で開始したか)	本事業は、地域再生の一環として、『「坂の上の雲」のまち再生計画』の目標に掲げる観光交流人口500万人から600万人への拡大に向け、スポーツを通じた交流人口の拡大や地域経済の活性化など、「スポーツで「ひと」、「まち」を元気にする!という目的を掲げ、平成17年度から(財)地域総合整備財団の「地域再生マネージャー事業」を活用しスタートした。平成19年度から重点事業に認定され平成20年度から「スポーツインテグリティまつやま推進事業」として実施し、現在に至っている。											
対象(誰を,何を)	プロスポーツ(愛媛FC、愛媛マダリンバイレーツ、愛媛オレンジバイキングス、東京ヤクルトスワローズ) 全国規模のスポーツ大会や合宿											
事業内容(どのような活動・手段か)	「東京ヤクルトスワローズ」の公式戦及び秋季キャンプの継続誘致 地域に密着したプロスポーツ(愛媛FC、愛媛マダリンバイレーツ、愛媛オレンジバイキングス)に関する情報発信及び集客支援 スポーツ大会・合宿等開催助成金制度を活用したスポーツコンベンション誘致 スポーツ情報サイトの運営管理 東京オリンピックを契機とした諸外国のスポーツ合宿誘致											
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	1:有り		有りの場合、その協働の内容		東京ヤクルトスワローズ松山協会(松山観光コンベンション協会)、愛媛FC、愛媛マダリンバイレーツ、愛媛オレンジバイキングス						
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り		(有りの場合) URL	http://www.sporting-city-matsuyama.com		パンフレット等の有無	1:有り		(有りの場合) 設置場所	市有スポーツ施設	
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由								
始期・終期(年度)	平成 19	～		終期設定できない場合の理由		愛媛FC、愛媛マダリンバイレーツ、愛媛オレンジバイキングスの支援については、愛媛県や他19市町と共に継続した支援を実施しており、本市単独での終期設定は困難である。						

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費	目	社会体育総務費	H30予算措置時期		当初	9月補正
				H28年度	H29年度				H30年度	H31年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				46,174	42,142			74,715				88,056
決算額(B)(単位:千円)				41,145	36,283			73,775				
内訳(単位:千円) ※H28～30→決算内訳, H31→予算内訳	国支出金			0	0			4,437				4,437
	県支出金			0	0			0				0
	市債			0	0			0				0
	その他			2,281	2,268			186				150
一般財源			38,864	34,015			69,152				83,469	
主な経費(単位:千円) ※H30→決算,H31→予算						負担金 48,747千円 補助金 8,688千円 広告料 3,160千円			負担金 58,152千円 補助金 9,000千円 広告料 3,160千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						負担金 3,159千円(9月補正)						
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	5,029	5,859		940				
人役(単位:人) ※小数点第一位まで				正規職員	3.5	2.9		3.9				4.6
				正規職員以外	0.0	0.1		0.0				0.0

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	プロ野球公式戦「東京ヤクルトスワローズ対阪神タイガース」 東京ヤクルトスワローズ秋季キャンプ 愛媛FCマッチング・マッチユア、愛媛MP松山市の日・中予広域の日 松山国際スポーツ交流事業(野球・マラソン・ドラゴンボートレース・サッカー) 東京オリンピック事前合宿誘致		H30年度終了までに把握している環境の変化、 障害、課題となっている事項	愛媛FC・愛媛MPへの支援は、マッチングや松山市の日など誘客イベントを毎年工夫しながら実施しているが、大きな誘客にはまだまだ繋がっていない。	
主な取組み内容の達成度	↑ ↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	東京オリンピック競技に向けた事前合宿等に関する協定締結など、台北市とのスポーツ交流事業を成功させ、信頼・友好関係を構築することができた。また、東京ヤクルトスワローズをはじめ愛媛FCや愛媛MPの集客等の支援事業は、地元種目団体(松山市軟式野球連盟)等も積極的に協力してくれていることから評価できる。		
中核市の実施状況	3:半数以上で実施	事業の独自性	特になし		
類似事業の有無(国,県,民間等)	1:有り	「有り」の場合,事業名・実施主体等	プロスポーツ振興協会の事務局を愛媛県に置き、愛媛FC・愛媛MP・愛媛OVの支援を他19市町と共に行っている。プロ野球公式戦についても、県内・四国内の小学生を無料招待できる場合は、愛媛県と協力し事業分担し実施している。		
事業の公共性	必要性	2 1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	政策性	1 1:政策的意決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1 1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		行政専門性	1 1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	台湾交流事業についても、国内だけでなく観光施策と連携したコンベンション効果が見込める。また国内で開催される国際大会の事前合宿を誘致することにより、オリンピック事前合宿誘致を拡大にしている。また、ヤクルト秋季キャンプについて3年間(平成30年度から平成32年度)の継続協定書を締結しており、今後の公式戦も含め交流人口の拡大が見込める。		
H31年度の目標	引き続きスポーツを切り口とした交流人口の拡大を図り、地域の活性化につなげるため、プロスポーツへの支援事業をはじめスポーツコンベンション誘致等、オリンピックの事前合宿誘致などを見据えた事業を実施する。また、愛媛県と連携した愛・野球博覧会が2年目を迎え、平成31年度は日米大学野球選手権大会等を実施し、交流人口の拡大を図る。	H31年度の主な取組み内容(予定含む)	プロ野球公式戦及び東京ヤクルトスワローズ秋季キャンプの誘致 愛媛FCや愛媛MP、愛媛OVに関する情報発信と集客支援 大会・合宿などスポーツコンベンションの誘致	特に環境変化,障害,課題等解決のため,H31年度で取り組み改善策	平成30年度より課名がスポーツインテグリティ推進課となり、スポーツコンベンション担当課長も配置されたことから、オリンピックの事前合宿誘致を目標として、台北市とのスポーツ交流事業を成功させ、信頼・友好関係を構築する。愛媛FC・愛媛MPへの支援としては、報道関係者や行政が積極的に市民へのPRを行っている。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	スポーツ大会・合宿の誘致	回	目標値	-	-	-	-	43	44	目標値	44
			実績値	40	20	42				達成年度	R2年度
			% 達成度	-	-	-					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標						現在の実績値から可能な最高値を設定			
	本指標の設定理由	本事業の効果を計る適切な指標であるため						最終目標値の設定の考え方			
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類										
	本指標の設定理由							最終目標値の設定の考え方			
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		% 達成度									
指標の種類											
本指標の設定理由							最終目標値の設定の考え方				
成果指標 (3つまで設定可)	プロスポーツの集客数	人	目標値	145,000	150,000	153,000	154,000	155,000	目標値	155,000	
			実績値	145,074	144,471	126,077			達成年度	R4年度	
			% 達成度	100	96	82					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標						現在の実績値から可能な最高値を設定			
	本指標の設定理由	本事業の効果を計る適切な指標であるため						最終目標値の設定の考え方			
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類										
	本指標の設定理由							最終目標値の設定の考え方			
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		% 達成度									
指標の種類											
本指標の設定理由							最終目標値の設定の考え方				
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	-									
	成果指標	ヤクルトスロローズ公式戦が、2試合中1試合が雨天中止になったため。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	事業実施による交流人口と地域経済効果										

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	担当グループ	連絡先	948-6597
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主査 青木 琢也	担当者名	主任 三瀬 香
H30年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	担当グループ	連絡先	948-6597
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	副主幹 重松 圭介	担当者名	主任 毛利 清一

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	中央公園管理運営事業	事業登録	既存	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	多彩な人材を育む				重点プロジェクト	-			
施策	地域スポーツの活性化				主な取り組み	-			
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約						
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用								
総合戦略	基本目標			取組み				(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	
	政策								
	施策								
総合計画の実施計画掲載有無(H30)	1:有り	重点的取組事業該当有無(H30)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成	
根拠法令, 条例, 個別計画等	スポーツ基本法・松山中央公園体育施設条例								
事業の目的(どのような状態にするか)	スポーツ施設の拠点・スポーツ公園として、スポーツ・レクリエーションの場を提供して、市民の健康維持・増進に寄与する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	平成15年9月に地方自治法の一部改正により、公の施設管理について、指定管理者制度が導入され、それに伴い平成18年度から同施設も導入した。								
対象(誰を、何を)	松山中央公園								
事業内容(どのような活動・手段か)	平成31年度から5年間について、(公財)松山文化・スポーツ振興財団が指定管理者として管理・運営を行っている。								
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	2:無し	有りの場合、その協働の内容						
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り	(有りの場合) URL	<a href="http://www.cul-spo.or.jp/centralpark/">http://www.cul-spo.or.jp/centralpark/</a>		パンフレット等の有無	1:有り	(有りの場合) 設置場所	松山中央公園、市役所
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		松山中央公園体育施設条例第5条に基づき使用料を定めている。				
始期・終期(年度)	平成	18	～	終期設定できない場合の理由		既存施設の管理運営のため、継続実施する必要があるため。			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費		中央公園管理費		H30予算措置時期	当初
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				590,109	564,883			604,485			613,845
決算額(B)(単位:千円)				578,180	559,341			590,947			
内訳(単位:千円) ※H28~30→決算内訳, H31→予算内訳	国支出金			0	0			0			0
	県支出金			0	0			0			0
	市債			0	0			0			0
	その他			170,259	141,016			151,484			165,800
	一般財源			407,921	418,325			439,463			448,045
主な経費(単位:千円) ※H30→決算,H31→予算							・松山中央公園指定管理料 560,563千円			・松山中央公園指定管理料 579,571千円 ・工事請負費 23,619千円 ・予約案内システムサービス料 7,849千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		11,929	5,542			13,538			
人役(単位:人) ※小数点第一位まで	正規職員			0.4	0.8			0.8			0.8
	正規職員以外			0.2	0.2			0.2			0.2

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託		H30年度終了までに把握している環境の変化, 障害,課題となっている事項	特になし
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	年間を通じて円滑な運営管理が行われた。
中核市の実施状況	3:半数以上で実施	事業の独自性	特になし	
類似事業の有無(国,県,民間等)	1:有り	「有り」の場合,事業名・実施主体等	松山中央公園内にある県有施設(武道館)について愛媛県が指定管理による運営を行っている。	
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	政策性 2 1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	行政専門性 1 1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、適正な施設の運営管理が行われ、市民の円滑な利用に繋がっている。	
H31年度の目標	引き続き適正な施設の管理運営に努める。		H31年度の主な取り組み内容(予定含む)	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託 特に環境変化,障害,課題等解決のため,H31年度で取り組む改善策 特になし

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	開館日数	日	目標値	321	319	315	330	330	目標値	330	
			実績値	321	320	322			達成年度	R2年度	
			% 達成度	100.0%	100.3%	102.2%					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	曜日・祝日等の影響で基本営業日は変動するため、毎年度ごとに目標値を定める。			
	本指標の設定理由	施設の利用状況の目安となる数字であるため									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
		% 達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	利用人数	人	目標値	734,000	748,000	751,000	761,000	761,000	目標値	761,000	
			実績値	721,279	683,374	623,200			達成年度	R5年度	
			% 達成度	98.3%	91.4%	83.0%					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	H26～H30年度の平均値(最大値と最小値を除く)が平成31年度達成目標値を比べて未達成であったため、人口減少も加味し同数値を目標値と設定する。			
	本指標の設定理由	施設の利用状況の目安となる数字であるため									
	使用料	千円	目標値	158,460	145,200	160,100	125,200	128,100	目標値	128,100	
			実績値	159,777	131,424	142,796			達成年度	R5年度	
			% 達成度	100.8%	90.5%	89.2%					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(RGI指数)とする。			
	本指標の設定理由	施設の利用状況の目安となる数字であるため									
		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
		% 達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	目標を超える開館ができ、適切な管理運営が行えている。									
	成果指標	前年度と比べて使用料収入と利用人数ともに減少しているが、7月の豪雨による屋外施設のキャンセルや、工事によるアクアバレットプール閉鎖期間考慮すると、やむをえないものと考えられる。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6597
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主査 青木 琢也	担当者名	主任 三瀬 香
H30年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6597
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	副主任 重松 圭介	担当者名	主任 毛利 清一

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	中央公園改修整備事業	事業登録	既存	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	多彩な人材を育む				重点プロジェクト			
施策	地域スポーツの活性化				主な取り組み			
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約					
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用							
総合戦略	基本目標	-		取組み	-			(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策	-			-			
	施策	-			-			

総合計画の実施計画掲載有無(H30)	1:有り	重点的取組事業該当有無(H30)	1:有り	(重点該当の場合)	開始年度	平成	27	終了(予定)年度	平成	29
--------------------	------	------------------	------	-----------	------	----	----	----------	----	----

根拠法令, 条例, 個別計画等	スポーツ基本法・松山中央公園体育施設条例									
-----------------	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業の目的(どのような状態にするか)	中央公園体育施設は、平成12年7月坊っちゃんスタジアムの供用を皮切りに順次整備され、平成17年のアクアパレット完成により公園内の整備が完了し、多くの市民等にスポーツ・レクリエーションの場を提供してきているものである。									
背景(どのような経緯で開始したか)	各施設とも経年劣化により摩耗・劣化が見受けられるため、安全で快適な施設提供をするため。									
対象(誰を、何を)	松山中央公園									
事業内容(どのような活動・手段か)	施設の状況を確認しながら、随時改修工事を行っている。									
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	2:無し		有りの場合、その協働の内容						
事業の周知状況	HP掲載の有無	3:掲載する性質でない		(有りの場合) URL	パンフレット等の有無		3:作成する性質でない			(有りの場合) 設置場所
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		松山中央公園体育施設条例第5条に基づき使用料を定めている。				
始期・終期(年度)	平成	18		～		終期設定できない場合の理由		施設が廃止されない限り、維持改修が必要であるため。		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費		目	中央公園管理費	H30予算措置時期	当初
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				271,350	154,721			464,190			205,079
決算額(B)(単位:千円)				203,638	147,149			236,381			
内訳(単位:千円) ※H28~30→決算内訳, H31→予算内訳			国支出金	56,407	15,330			0			0
			県支出金	0	0			0			0
			市債	0	0			206,700			169,800
			その他	0	0			0			0
			一般財源	147,231	131,819			29,681			35,279
主な経費(単位:千円) ※H30→決算,H31→予算								中央公園マドンナスタジアムグラウンド改修工事 252,000千円			・坊っちゃんスタジアムナイター照明改修設計業務委託 19,833千円 ・坊っちゃんスタジアム音響設備改修工事6,454千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											予算額のうち178,792千円は前年度繰越分
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)	67,712	7,572			227,809			
人役(単位:人) ※小点数第一位まで			正規職員	1.1				1.1			1.1
			正規職員以外	0.7				0.7			0.7

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	経年劣化による各施設の改修を随時行うとともに、マドンナスタジアムのグラウンド及び人工芝が老朽化しており、プレーに支障が生じることから改修を行った。		H30年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	限られた予算内で改修することから、突発的な工事については、優先順位を付けて実施すること並びに大規模の改修工事では、利用者に影響が出ない時期等を見据えて取り組む必要がある。		
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	優先順位の高いものから改修を行うことができた。		
中核市の実施状況	3:半数以上で実施	事業の独自性	特になし			
類似事業の有無(国,県,民間等)	1:有り	「有り」の場合,事業名・実施主体等	施設を保有する団体等			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	2	1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	行政専門性	1	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、適正な施設の運営管理が行われ、市民の円滑な利用に繋がっている。			
H31年度の目標	体育施設等の機能を維持するために、改修・修繕を行うとともに、安全で快適な施設を提供するために、計画的に取り組む。		H31年度の主な取組み内容(予定含む)	・坊っちゃんスタジアムナイター照明改修設計業務委託 ・坊っちゃんスタジアム音響設備改修工事	特に環境変化,障害,課題等解決のため,H31年度で取り組む改善策	大規模な施設改修を今後実行していくための改修計画を整理・検討する。



【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	最終目標	
活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
			% 達成度							
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由									
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
				% 達成度						
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由									
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
% 達成度										
指標の種類				最終目標値の 設定の考え方						
本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
			% 達成度							
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由									
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
				% 達成度						
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由									
				目標値						目標値
				実績値						達成年度
% 達成度										
指標の種類				最終目標値の 設定の考え方						
本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標									
	成果指標									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	計画的な施設の改修のほか、随時必要な箇所に対して修繕・改修を実施していく事業であることから、指標が設定できない。									

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグレーション推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主査	青木 琢也	担当者名	主任	永徳 佑理	
H30年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグレーション推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598			
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	副主幹	重松 圭介	担当者名	副主幹	重松 圭介	主事
										永徳 佑理	

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	総合コミュニティセンター管理運営事業	事業登録	既存	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	多彩な人材を育む				重点プロジェクト	-		
施策	地域スポーツの活性化				主な取り組み	-		
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約					
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用							
総合戦略	基本目標			取組み			(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	2:無し
	政策							
	施策							
総合計画の実施計画掲載有無(H30)	1:有り	重点的取組事業該当有無(H30)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成
根拠法令,条例,個別計画等	松山市総合コミュニティセンター条例							
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市総合コミュニティセンターは市のスポーツ・レクリエーション・文化振興・生涯学習の活動中核拠点である。同センターの管理・運営を指定管理により行い、教育文化の振興や市民の健康増進、市民福祉の高揚に寄与する。							
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和59年11月に体育館・温水プール・駐車場が供用開始したのを皮切りに、昭和62年4月に全館オープンした。							
対象(誰を,何を)	松山市総合コミュニティセンター							
事業内容(どのような活動・手段か)	平成26年度から平成31年3月31日までの5年間の予定で、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として、管理・運営を行っている。							
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	1:有り	有りの場合、その協働の内容	こども館活性化について協議し、イベント等を実施した。				
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り	(有りの場合) URL	<a href="http://www.cul-spo.or.jp/comcen/">http://www.cul-spo.or.jp/comcen/</a>	パンフレット等の有無	1:有り	(有りの場合) 松山市総合コミュニティセンター、松山市役所スポーツインテグレーション推進課等	
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由	松山市総合コミュニティセンター条例				
始期・終期(年度)	平成	18	～	終期設定できない場合の理由	既存施設の管理運営のため、継続実施する必要があるため。			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務管理費		目	総合コミュニティセンター費	H30予算措置時期	当初
				H28年度	H29年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				652,827	660,665		682,381		659,502
決算額(B)(単位:千円)				615,616	657,707		664,137		
内訳(単位:千円) ※H28～30→決算内訳, H31→予算内訳	国支出金			0	0		0		0
	県支出金			0	0		0		0
	市債			0	0		0		0
	その他			229,521	238,278		229,359		234,920
	一般財源			386,095	419,429		434,778		424,582
主な経費(単位:千円) ※H30→決算,H31→予算						指定管理料 640,323千円		指定管理料 632,034千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						総合コミュニティセンター改修整備事業を統合		予算額のうち3,528千円は前年度繰越分	
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			37,211	2,958		18,244		
人役(単位:人) ※小点数第一位まで	正規職員			0.9	0.9		1.8		1.6
	正規職員以外			0.1	0.1		0.7		0.2

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託		H30年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	特に無し
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	年間を通じて円滑な運営管理が行えた。平成28年度に実施した「笑顔のまつりまわがまち工房」の元メンバーが参加する「こども館クラブ」を中心として、こども館活性化イベントを実施するなど、市民協働型で施設の活性化することができた。
中核市の実施状況	3:半数以上で実施	事業の独自性	指定管理による施設運営は全国的に実施されている。	
類似事業の有無(国,県,民間等)	1:有り	「有り」の場合,事業名・実施主体等	愛媛県が県有施設(愛媛県民文化会館、愛媛県武道館等)を指定管理により運営を行っている。	
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、適正な施設運営が行われ、市民の円滑な利用に繋がっているため。	
H31年度の目標	引き続き適正な施設運営に努める。		H31年度の主な取組み内容(予定含む)	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託 特に環境変化,障害,課題等解決のため,H31年度で取り組む改善策 特に無し

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	開館日数	日	目標値	320	319	319	319	319	目標値	319	
			実績値	319	320	321			達成年度	R2年度	
			% 達成度	100%	100%	101%					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	曜日・祝日等の影響で基本の営業日数は変動するため、毎年度ごとに目標値を定める。			
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	使用料収入	千円	目標値	221,770	219,800	240,000	198,658	198,940	目標値	199,792	
			実績値	224,545	230,978	225,091			達成年度	R5年度	
			% 達成度	101.3%	105.1%	93.8%					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(KGI指数)とする。			
	本指標の設定理由	施設の利用状況の目安となる数字であるため									
	利用人数	人	目標値	822,000	840,000	850,000	850,000	850,000	目標値	850,000	
			実績値	846,456	876,438	791,010			達成年度	R5年度	
			% 達成度	103.0%	104.3%	93.1%					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	H26～H30年度の平均値(最大値と最小値を除く)が平成31年度達成目標値を比べて未達成であったため、人口減少も加味し同数値を目標値と設定する。			
	本指標の設定理由	施設の利用状況の目安となる数字であるため									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	目標を超える開館ができ、適切な管理運営が行えている。									
	成果指標	使用料収入、利用人数ともに目標値を達成できていない。目標未達成の要因として、H29年度に開催された「えひめ団体」、「えひめ大会」の会場となったことやイベント開催等に伴う利用件数の減少が挙げられる。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598		
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主査 青木 琢也	担当者名	主任 永徳 佑理		
H30年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598		
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	副主幹 重松 圭介	担当者名	副主幹 重松 圭介	主事 永徳 佑理	

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	スポーツセンター管理事業	事業登録	既存	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	多彩な人材を育む				重点プロジェクト	-			
施策	地域スポーツの活性化				主な取り組み	-			
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約						
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用								
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	-	
	政策	-			-			-	
	施策	-			-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(H30)	1:有り	重点的取組事業該当有無(H30)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成	
根拠法令, 条例, 個別計画等	松山市体育施設条例								
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市北部地域のスポーツ拠点として、市民にスポーツ活動・レクリエーション活動を行える場所を提供する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	平成17年1月に旧北条市との合併により、旧北条スポーツセンター及び北条体育館が松山市の管理施設となった。現在の北条スポーツセンターは、平成19年7月に球技場を供用開始したのを皮切りに順次供用開始し、平成23年4月に体育館を供用開始して第1期整備は完了した。次いで、第2期整備として平成28年4月に野球場を供用開始した。								
対象(誰を、何を)	北条スポーツセンター及び北条体育館								
事業内容(どのような活動・手段か)	平成26年度から平成31年3月31日までの5年間の予定で、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として、管理・運営を行っている。								
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	2:無し	有りの場合、その協働の内容						
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り	(有りの場合) URL	<a href="http://www.cul-spo.or.jp/hsc/">http://www.cul-spo.or.jp/hsc/</a>		パンフレット等の有無	1:有り	(有りの場合) 設置場所	北条スポーツセンター、松山市役所スポーツインテグリティ推進課等
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		松山市体育施設条例				
始期・終期(年度)	平成	18	～	終期設定できない場合の理由	既存施設の管理運営のため、継続実施する必要があるため。				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費		目	体育施設費	H30予算措置時期	当初
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				285,719	211,264				107,077		136,574
決算額(B)(単位:千円)				170,107	205,508				96,148		
内訳(単位:千円) ※H28~30→決算内訳, H31→予算内訳			国支出金	0	0				0		0
			県支出金	0	0				0		0
			市債	66,808	71,400				0		0
			その他	19,580	17,635				18,271		21,115
			一般財源	83,719	116,473				77,877		115,459
主な経費(単位:千円) ※H30→決算,H31→予算								指定管理料 93,633千円		指定管理料 102,574千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		115,612	5,756				10,929		
人役(単位:人) ※小数点第一位まで			正規職員	0.9	0.9				0.9		0.5
			正規職員以外	0.1	0.1				0.1		0.1

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託		H30年度終了までに把握している環境の変化, 障害, 課題となっている事項	特に無し
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点, 悪かった点など	年間を通じて円滑な運営管理が行えた。
中核市の実施状況	3:半数以上で実施	事業の独自性	指定管理による施設運営は全国的に実施されている。	
類似事業の有無(国, 県, 民間等)	1:有り	「有り」の場合, 事業名・実施主体等	愛媛県が県有施設(愛媛県民文化会館, 愛媛県武道館等)を指定管理により運営を行っている。	
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	1:政策的意決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、適正な施設運営が行われ、市民の円滑な利用に繋がっているため。	
H31年度の目標	引き続き適正な施設運営に努める。		H31年度の主な取組み内容(予定含む)	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託 特に環境変化, 障害, 課題等解決のため, H31年度で取り組む改善策

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	開館日数	開館日数	目標値	359	361	359	359	359	目標値	359	
			実績値	359	361	359			達成年度	R2年度	
			% 達成度	100%	100%	100%					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)						最終目標値の設定の考え方	大型工事等の影響で基本の営業日数は変動する可能性があるため、毎年度ごとに目標値を定める。		
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類							最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類							最終目標値の設定の考え方				
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	使用料収入	千円	目標値	17,600	18,500	19,500	19,500	17,400	目標値	17,910	
			実績値	17,073	15,297	16,241			達成年度	R5年度	
			% 達成度	97.0%	82.7%	83.3%					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)						最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(KGI指数)とする。		
	本指標の設定理由	施設の利用状況の目安となる数字であるため									
	利用人数	人	目標値	158,900	163,500	167,400	168,100	168,100	目標値	168,100	
			実績値	145,023	150,938	125,879			達成年度	R5年度	
			% 達成度	91.3%	92.3%	75.2%					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)						最終目標値の設定の考え方	H26～H30年度の平均値(最大値と最小値を除く)が平成31年度達成目標値を比べて未達成であったため、人口減少も加味し同数値を目標値と設定する。		
	本指標の設定理由	施設の利用状況の目安となる数字であるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類							最終目標値の設定の考え方				
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	予定通りの開館を行うことができ、良好である。									
	成果指標	使用料収入、利用人数ともに目標値を達成できていない。目標未達成の要因として、H29年度に開催された「えひめ国体」、「えひめ大会」の会場となったことや、西日本豪雨により野球場を一時閉鎖したことが挙げられる。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6597	
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主査	青木 琢也	担当者名	主任 毛利 清一
H30年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6597	
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	副主任	重松 圭介	担当者名	主任 三瀬 香

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	野外活動センター管理運営事業	事業登録	既存	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	多彩な人材を育む				重点プロジェクト	-			
施策	地域スポーツの活性化				主な取り組み	-			
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約						
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用								
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	-	
	政策	-			-			-	
	施策	-			-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(H30)	1:有り	重点的取組事業該当有無(H30)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成	
根拠法令,条例,個別計画等	松山市野外活動センター条例、松山市野外活動センター条例施行規則								
事業の目的(どのような状態にするか)	野外活動及びスポーツ施設の拠点として、スポーツ・レクリエーションや豊かな自然に触れ合うことのできる場を提供し、市民の健康維持・増進に寄与する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	平成元年7月のキャンプゾーン一部オープンを皮切りに、順次整備を進め、平成10年4月に全面オープンしたレクリエーション施設である。レインボーハイランドとして親しまれ、管理運営を(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が行っている。								
対象(誰を、何を)	スクールゾーン、キャンプゾーン、アドベンチャーゾーンの3つのゾーンから構成されており、一般の子どもから大人まで楽しめる野外活動センター施設となっている。								
事業内容(どのような活動・手段か)	平成31年度から5年間の予定で、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として管理・運営を行っている。								
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	1:有り	有りの場合、その協働の内容	野外活動センターまつりの際に、地元の方々と協働でイベントを盛り上げている。					
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り	(有りの場合) URL	<a href="http://www.cul-spo.or.jp/rainbow/">http://www.cul-spo.or.jp/rainbow/</a>	パンフレット等の有無	1:有り	(有りの場合) 設置場所	市内市有施設	
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	松山市野外活動センター条例及び条例施行規則に基づく使用料					
始期・終期(年度)	平成	元	～	終期設定できない場合の理由	既存施設の管理運営のため、継続実施する必要があるため。				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		社会教育費		目	野外活動センター費	H30予算措置時期	当初
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				398,655	202,946				230,117		216,961
決算額(B)(単位:千円)				365,608	196,026				182,836		
内訳(単位:千円) ※H28～30→決算内訳, H31→予算内訳			国支出金	0	0				0		0
			県支出金	0	0				0		0
			市債	0	0				0		0
			その他	37,784	48,341				15,426		25,980
			一般財源	327,824	147,685				167,410		190,981
主な経費(単位:千円) ※H30→決算,H31→予算								指定管理料:166,777千円		指定管理料:204,895千円 備品購入費:5,750千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								流用による減あり。 決算額のうち1,751千円は前年度繰越分。			
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		33,047	6,920				47,281		
人役(単位:人) ※小数点第一位まで			正規職員	0.8	1.0				1.0		0.8
			正規職員以外	0.2	0.2				0.2		0.2

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託。		H30年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	西日本豪雨の影響で約5カ月間施設を閉鎖したことにより、離れてしまった利用者呼び戻すための魅力ある施設運営に努める。		
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	年内に施設を再開できた点や、積極的な利用案内を行い、利用者減を最小限に抑えられた点は評価できる。		
中核市の実施状況	3:半数以上で実施	事業の独自性	特になし			
類似事業の有無(国,県,民間等)	2:無し	「有り」の場合,事業名・実施主体等				
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	2	1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	行政専門性	1	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、適正な施設の運営管理が行われ、市民の円滑な利用に繋がっている。			
H31年度の目標	引き続き適正な施設の管理運営に努める。		H31年度の主な取り組み内容(予定含む)	・(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理を委託 ・オープンから30年が経過し、施設の老朽化が目立つため、計画的な改修・修繕を行う。	特に環境変化,障害,課題等解決のため,H31年度で取り組む改善策	施設の本格的な再開を含め、野外活動センターの魅力発信していく。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	営業日数	日	目標値	321	321	327	321	321	目標値	321	
			実績値	323	321	171			達成年度	R2年度	
			% 達成度	100	100	52					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)						最終目標値の設定の考え方	曜日・祝日等の影響で基本営業日は変動するため、毎年度ごとに目標値を定める。		
	本指標の設定理由	施設の利用可能日を示す指標であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類							最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類							最終目標値の設定の考え方				
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	利用人数	人	目標値	205,000	210,000	215,000	220,000	220,000	目標値	220,000	
			実績値	193,025	189,590	82,907			達成年度	R5年度	
			% 達成度	94.2	90.3	38.6					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標						最終目標値の設定の考え方	H26～H30年度の平均値(最大値と最小値を除く)が平成31年度達成目標値を比べて未達成であったため、人口減少も加味し同数値を目標値と設定する。		
	本指標の設定理由	施設利用状況を示す指標であるため。									
	使用料	千円	目標値	36,580	40,387	40,000	26,000	31,360	目標値	37,000	
			実績値	36,466	46,889	14,613			達成年度	R5年度	
			% 達成度	99.7	116.1	36.5					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標						最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(RGI指数)とする。		
	本指標の設定理由	施設利用状況を示す指標であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類							最終目標値の設定の考え方				
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	約5カ月間施設を閉鎖せざると得なかったため、営業日数の減はやむなしと考える。									
	成果指標	災害の影響で繁忙期に施設を閉鎖したことにより、利用人数、使用料ともに目標を大きく下回ったが、利用案内を積極的に行い、利用者離れを最小限に抑えることができたと考えている。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598	
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主査 青木 琢也	担当者名	主任 毛利 清一	
H30年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598	
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	副主幹 重松 圭介	担当者名	主事 正岡 優希	

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	体育施設管理運営事業	事業登録	既存	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理		
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-					
政策	多彩な人材を育む				重点プロジェクト	-				
施策	地域スポーツの活性化				主な取り組み	-				
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約							
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用									
総合戦略	基本目標			取組み				(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無		
	政策									
	施策									
総合計画の実施計画掲載有無(H30)	1:有り		重点的取組事業該当有無(H30)	2:無し		(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成
根拠法令,条例,個別計画等	松山市体育施設条例,松山市体育施設条例施行規則									
事業の目的(どのような状態にするか)	体育施設を円滑に維持管理し、充実したスポーツ施設を市民に提供する。									
背景(どのような経緯で開始したか)	利用者が目的に応じ安心して気軽にスポーツを楽しむほか、市民のレクリエーション活動や憩いの場として活用するために順次開設し、維持管理を行っている。									
対象(誰を,何を)	・別府市民運動広場:昭和58年 ・拓川市民運動広場:昭和60年 ・空港東第四公園テニスコート:平成元年 ・湯月公園テニスコート:昭和28年 ・重信川ソフトボール広場:昭和54年 ・河野別府公園公園体育施設・市民グラウンド:平成元年、サブグラウンド:平成6年、テニスコート:平成2年 ・北条公園(北橋運動広場):昭和52年									
事業内容(どのような活動・手段か)	施設の運営・維持管理や改修工事等を行っている。 ・施設の運営・維持管理のための指定管理等に関する事務 ・各種工事 ・各種備品等の充実・修繕 ・別府市民運動広場、拓川市民運動広場、空港東第四公園テニスコート、湯月公園テニスコート、重信川ソフトボール広場:奥アンツーカ株式会社へ委託 ・河野別府公園公園体育施設・市民グラウンド、サブグラウンド、テニスコート:ふるさと北条ファンづくり応援団へ委託 ・北条公園(北橋運動広場):ふるさと北条ファンづくり応援団へ委託									
市民や民間等との協働の状況	協働の有無		3:協働する性質でない		有りの場合、その協働の内容					
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り		(有りの場合) URL	<a href="http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/koen/sportssyoukai/sportsshisetsu/sisetuichiran.html">http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/koen/sportssyoukai/sportsshisetsu/sisetuichiran.html</a>		パンフレット等の有無	1:有り	(有りの場合)設置場所	市有施設
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り		「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		松山市体育施設条例、松山市体育施設条例施行規則の定めによる金額				
始期・終期(年度)	昭和	28		～		終期設定できない場合の理由		施設が廃止されない限り、維持管理が必要であるため。		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		保健体育費	目	体育施設費	H30予算措置時期	当初
				H28年度	H29年度					
現計予算額(A)(単位:千円)				50,561	50,602			51,152		92,286
決算額(B)(単位:千円)				47,598	46,437			48,968		
内訳(単位:千円) ※H28~30→決算内訳, H31→予算内訳	国支出金			0	0			0		0
	県支出金			0	0			0		0
	市債			0	0			0		33,200
	その他			16,240	19,912			16,637		16,500
一般財源			31,358	26,525			32,331		42,586	
主な経費(単位:千円) ※H30→決算,H31→予算						委託料36,399千円、 工事請負費11,016千円、 需用費417千円		委託料54,483千円、 工事請負費36,969千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						決算額のうち、3,092千円は前年度繰越分。				
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		2,963	4,165			2,184		
人役(単位:人) ※小数点第一位まで		正規職員		0.6	0.6			0.6	0.6	
		正規職員以外		0.2	0.2			0.2	0.2	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	指定管理等により施設維持管理 ・空港東第四公園ベンチ購入 ・湯月公園外周フェンス改修工事 ・河野別府公園サブグラウンド防球フェンス改修工事		H30年度終了までに把握している環境の変化、 障害,課題となっている事項	重信川ソフトボール広場を新たに指定管理施設に追加し、平成31年度から奥アンツーカ株式会社へ委託した。		
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	指定管理者と連携し、適切な維持管理を行うことができた。		
中核市の実施状況	3:半数以上で実施		事業の独自性	特になし		
類似事業の有無(国,県,民間等)	1:有り		「有り」の場合,事業名・実施主体等	グラウンド:松山市公園緑地課所管の公園、小中学校グラウンド(夜間開放)、愛媛県石井グラウンド、民営グラウンド テニスコート:愛媛県総合運動公園テニスコート、民営テニスクラブ		
事業の公共性	必要性	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		政策性	2	1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		実施主体の妥当性	2	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由	本事業で維持管理しているスポーツ施設の利用者数は、年間延べ25万人を超えており、地域スポーツ活動の推進にとっては、必要不可欠であると考えられるため。		
H31年度の目標	円滑な維持管理を行い、例年並みの利用者数、使用料、稼働率を確保する。指定管理者の提案を踏まえ、自主事業など利用者減を最小限に留める取組を実施する。		H31年度の主な取組み内容(予定含む)	指定管理等による施設維持管理 ・施設の修繕工事 ・スポーツ施設ストック適正化計画策定業務委託	特に環境変化,障害,課題等解決のため,H31年度で取り組む改善策	指定管理施設追加による利用者への混乱が生じないように適切な周知と施設維持管理を行う。



【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	開場日数	開館日数	目標値	359	359	359	359	359	目標値	359	
			実績値	359	359	359	359	359	達成年度	R2年度	
			% 達成度	100%	100%	100%					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	工事等の影響で基本の営業日数は変動する可能性があるため、毎年度ごとに目標値を定める。			
	本指標の設定理由	施設を利用できる状態にしている具体的な数字であるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	使用料収入	千円	目標値	9,660	15,720	16,230	16,651	17,082	目標値	17,732	
			実績値	9,914	16,288	16,158			達成年度	R5年度	
			% 達成度	103%	104%	100%					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の使用料等の目標設定(KGI指数)とする。			
	本指標の設定理由	施設の利用状況の目安となる数字であるため(※重信川ソフトボール広場除く。H28年度のみ河野別府公園除く。)									
	利用人数	人	目標値	209,400	209,800	210,200	210,421	210,421	目標値	210,421	
			実績値	203,391	209,491	208,286			達成年度	R5年度	
			% 達成度	97%	100%	99%					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	H26～H30年度の平均値(最大値と最小値を除く)と比較したところ平成25年度の5%増の数値に未到達であることから、人口減少も加味し、同数値を目標値と設定する。			
	本指標の設定理由	施設の利用状況の目安となる数字であるため(※重信川ソフトボール広場除く。)									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	予定通りの開場を行うことができ、良好である。									
	成果指標	屋外施設であることから天候の影響を受けやすいが、使用料収入及び利用人数ともに概ね目標値を達成している。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグレーション推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598	
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	主査	青木 琢也	担当者名	主任 毛利 清一
H30年度	部局等名	総合政策部	課等名	スポーツインテグレーション推進課	担当グループ名	施設担当グループ	連絡先	948-6598	
	部等長名	河合 洋二	課等長名	矢野 秋文	リーダー名	副主任	重松 圭介	担当者名	主任 三瀬 香

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	42213	野外活動センター施設災害復旧事業	事業登録	既存	事業性質	3:その他	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	多彩な人材を育む				重点プロジェクト			
施策	地域スポーツの活性化				主な取り組み			
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約					
取り組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用							
総合戦略	基本目標			取組み				(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策							
	施策							
総合計画の実施計画掲載有無(H30)	2:無し	重点的取組事業該当有無(H30)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成
根拠法令, 条例, 個別計画等	松山市野外活動センター条例, 松山市野外活動センター条例施行規則							
事業の目的(どのような状態にするか)	平成30年7月の西日本豪雨により複数箇所発生した崩落箇所を復旧し、市民が安全・安心に利用できるスポーツ施設を提供することを目的とする。							
f	西日本豪雨の影響で被害を受けた箇所は以下のとおり。 ①施設入口付近の園内道路法面の崩落(2か所) ②園内通路が寸断(パーベキュー広場東斜面、ローラースライダー南斜面) ③法面崩落(多目的グラウンド北側、西側、貯水槽周辺、クラフト教室東) ④崩落により敷地外への土砂流出(4か所)							
対象(誰を, 何を)	スポーツ及び野外活動を楽しむ市民を広く対象にしている。							
事業内容(どのような活動・手段か)	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社ライト設計コンサルタントへ応急復旧工事に係る業務委託料を支出。</li> <li>株式会社坂本重機建設へ応急復旧の工事請負費を支出。</li> <li>株式会社ライト設計コンサルタントへ本復旧工事に係る業務委託料を支出。</li> </ul>							
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	3:協働する性質でない	有りの場合、その協働の内容					
事業の周知状況	HP掲載の有無	3:掲載する性質でない	(有りの場合) URL	パンフレット等の有無		3:作成する性質でない	(有りの場合) 設置場所	
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	平成 30	～	平成 31	終期設定できない場合の理由				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	災害復旧費			教育施設災害復旧費			運動センター施設災害復旧費		
				H28年度	H29年度	H30年度	H30年度	H31年度	H30年度	H31年度	8月補正	12月補正
現計予算額(A)(単位:千円)				40,900	22,200		29,000					120,048
決算額(B)(単位:千円)				17,464	19,632		17,983					
内訳(単位:千円) ※H28~30→決算内訳, H31→予算内訳	国支出金				0	0		0				0
	県支出金				0	0		0				0
	市債				17,400	19,600		17,900				120,000
	その他				0	0		0				0
	一般財源				64	32		83				48
主な経費(単位:千円) ※H30→決算, H31→予算							委託料:6,626千円 工事請負費:11,357円	工事請負費:112,000千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越, 補正, 流用, 事業統合等							予算額のうち8,048千円は前年度繰越分					
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			23,436	2,568		11,017					
人役(単位:人) ※小数点第一位まで	正規職員				0.2	0.6		0.6	0.2			
	正規職員以外				0.2	0.2		0.2	0.3			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>応急復旧工事に係る委託</li> <li>応急復旧工事</li> <li>本復旧工事に係る委託</li> </ul>		H30年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	平成30年12月に営業を再開しているが、一部施設は閉鎖している状態である。	
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点, 悪かった点など	予定通りに委託及び工事を実施した。	
中核市の実施状況	4:わからない	事業の独自性	特になし		
類似事業の有無(国, 県, 民間等)	2:無し	「有り」の場合, 事業名・実施主体等			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	
	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	行政専門性	
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	野外活動センターでも利用頻度の高い場所の復旧工事であり、利用者が安全・安心して利用できる施設の維持管理は地域スポーツ活動の推進にとって必要不可欠であると考えられるため。		
H31年度の目標	平成31年度内に本復旧工事を完了させる。		H31年度の主な取り組み内容(予定含む)	計画的に本復旧工事を進める。	特に環境変化, 障害, 課題等解決のため, H31年度で取り組む改善策